

令和6年度 育林環境部の研究概要

～多様で健全な森づくりに関する研究～

〈苗畑・試験展示林〉

菊陽苗畑：2.0ha（菊陽町）



- ・スギ特定母樹採穂園
- ・スギ遺伝子保存林
- ・ヒノキ優良系統保存林

など

舞の原試験展示園： 5.2ha（甲佐町）



- ・有用造林樹種展示林（広葉樹）
- ・センダン優良系統採穂園
- ・センダン芽かき試験林
- ・スギ優良系統採穂園

など

〈試験研究課題〉

1

シャカインの雄花着花性に関する研究

令和2～6年度（森税）（継続）

熊本県の主要なスギ在来品種であるシャカインについて、花粉の発生源となる雄花の着花性を経年調査してその実態を明らかにし、伐期など施業指針を判断する基準の一つとする。



2

シカの確実な捕獲に向けた技術に関する研究

令和3～6年度（森税）（継続）

高度な知識や技術を有する従事者の存在は捕獲対策において重要である。そうした従事者の育成・確保に必要な情報を提供するため、シカを確実に捕獲する手法や猟具の適正な選定に関する検証等を行う。



3

皆伐により集積された末木枝条の危険性に関する調査

令和5～6年度（森税）（継続）

熊本県では「災害に強い森林づくり」の実現に向けた取組みを推進しているところ。皆伐跡地に集積される末木枝条が災害を助長するおそれがあるか確認するため、末木枝条の集積状況について現地情報を収集整理するとともに、集積すべきでない場所や安全な集積方法等について提案する。



〈継続研究〉

優良系統創出・保存事業

毎年度（一財）（継続）

ナンゴウヒと精英樹を交配し、選抜した次世代ヒノキやスギ在来品種を交配して創出した優良系統の保存を行う。

